

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	・講堂を活用した交流行事、イベント等に対する児童生徒、保護者、参加者の満足度 ・講堂（交流、研修等）の活用実績回数
計画名	「なんば・なにわホール（仮称）」 すまいるプロジェクト事業

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>3. 児童生徒が、仲間とつながり、地域の人々とともに生きていく喜びを実感する</p> <p>(1) 本校の講堂（約1000席）等を活用し、地域（小中学校、高等学校等を含む）との交流の機会拡大を図る。</p> <p>ア 交流校の開拓及び内容を深める。交流校数を昨年度より増やす。（昨年度5校） 具体的な内容として、文化的行事を交流及び共同学習の中核に位置づける。 参加児童生徒及び教員の肯定的評価を80%以上にする。</p> <p>ウ 地域の指導者を招き、地域の伝統的な皮革産業及び伝統的な太鼓演奏を学び、体感する機会を創出する。</p>		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本校講堂（市民ホールに匹敵する施設）を地域に愛される学校づくりのシンボリックな施設と位置付ける。 ・子どもたちが、全国的にも知られている地域の産業である皮革、太鼓を体感できる場、発信する場とする。 ・豊かな地域・他校交流の場とし、子どもたちが地域で自立した生活を送るための基盤づくりとする。 ・府立学校の共有財産として、研修会や合同説明会等に活用いただくことで、大阪府全体の教育活動に貢献する。 <p>* 満足度アンケート、活用回数等を成果指標とし、行事、年度ごとの検証をふまえ、活用内容等を深化させる。</p>		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	<p>講堂の整備及び環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台照明機器（老朽化により不安定な状況）の整備 ・音響機器、スクリーン（故障）の整備 ・冬季用の暖房設備（大型ファンヒーター） 	
	取組内容	前年度	<p>平成28年11月起点の「すまいるプロジェクト」の一環として、交流に重点を置いた講堂活用行事を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難波支援・なにわ高等支援の生徒による合同太鼓演奏を保護者、地域の人々に披露（12月） ・作品展等で、近隣小学校を招いての交流会（2月） ・スポーツ庁事業によるパラリンピックの選手（日本代表）である津川選手（卒業生）を招いての交流会（1月） <p>* 参考：H27.11大阪市外国語研究会主催 中国語弁論大会 H28.3 大阪市主催 市職員対象のSSC説明会</p>
		初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪北梅田ロータリークラブ記念行事として、地域の小学校、保育所等を招いての音楽鑑賞会 ・本事業の記念行事として、地域の学校や老人会等を招いて、地域の太鼓集団「怒り」の鑑賞会 ・講堂での定期的な本校児童生徒を対象とした太鼓教室の開催（地域の指導者との連携） ・府立学校全体に、使用規定等を記載した案内チラシを配付するなど周知し、学校説明会、研修会の場として提供 <p>* 各行事ごとのアンケート等により効果検証を行い、改善点等を検討し、次回の行事を改善する。</p>
		2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓演奏会・太鼓教室等の継続実施 ・発表会や鑑賞会等、地域の幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校等との交流事業の開催 ・事業の一環として、府立学校等の教職員を対象とした研修会の開催 ・なにわ高等支援との連携による、講堂前の喫茶コーナーとのコラボ実現 <p>* アンケート等による満足度をふまえ、全般的な検証を行い、最終年度の改善方策を立てる。</p>
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓演奏会・太鼓教室等の継続実施 ・地域の幼稚園、保育所小・中学校等との交流事業、府立学校等の研修等の継続開催 ・広域の保護者を対象とした、障がいのある子どもの福祉制度や就労制度等の説明会を開催 ・府立学校、大阪府、市町村等への会場提供を周知徹底し、恒久的な活用状況を実現する。 	
	取組みの 主担・実施者	<p>取組みの主担：教頭 取組みの実施者：首席</p>	
成果の 評価 指標 方法	初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事、イベントごとにアンケートを実施し、満足度（80%以上）を把握する。 ・行動を活用した学校交流の校数を昨年度より増加する。（昨年度5校） ・すまいるプロジェクトチーム（首席がリーダー）による効果検証を行い、充実方策を進める。 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事での満足度80%以上。 ・府立学校等での研修、説明会での活用実績を年間5回以上。 ・すまいるプロジェクトチーム（首席がリーダー）による効果検証を行い、充実方策を進める。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・府立学校等での活用実績を前年度比30%増。 ・すまいるプロジェクトチーム（首席がリーダー）による総括（成果検証）を行い、恒久的かつ安定的な講堂活用の指針等を作成する。 	

3. 事業費

事業費総額	3,486,132	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
							小計	
2 旅費	1							
	2							
	3							
							小計	
3 消耗需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
	3							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
	3							
							小計	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
							小計	
8 備品購入費	1							
	2							
	3							
							小計	
9 工事請負費	1	講堂証明設備改修工事一式						¥3,486,132
	2							
	3							
							小計	¥3,486,132
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
							小計	
							合計	¥3,486,132

積算内訳